

t 1 4 3 e

昭 和 54 年 度

川 崎 市 衛 生 研 究 所 年 報

(第 15 号)

川 崎 市 衛 生 研 究 所

(1 9 7 9)



は　　じ　　め　　に

昭和54年度の当研究所の現況と業務実績のあらましを取りまとめ、年報、第15号として、お届け致します。ご高覧の上、ご批判、ご教示を頂ければ幸いです。

今や世界の構造の変化、日本の社会の多様化により、地方自治は新しい時代を迎えています。川崎市においても、この新しい時代に対応すべく、創造性が求められ、これを引き出すための研修、学習の必要が強く唱えられています。

私たち職員一同も、ここに立脚して、研修、学習に大いに励み、業務に研究に創造性をもって取りくみ、新しい時代の地域の公衆衛生の向上に貢献したいと考えております。

皆様のご指導をお願いする次第であります。

昭和56年 1 月

川崎市衛生研究所長　　長　　田　　　　信

目 次

1. 概 要	1
(1) 沿 革	1
(2) 機 構	3
a) 組 織	3
b) 事 務 分 掌	3
(3) 人 員 配 置	4
a) 職員職種別定数	4
(4) 予 算	4
a) 歳 入	4
b) 歳 出	5
(5) 行 事	5
a) 学 会	5
b) 講習会及び研修会	6
c) 職 場 研 修	7
d) 会 議	8
(6) 指 導 訓 練	8
(7) 講 師 派 遣	9
2. 試 験 検 査	10
(1) 月別検査件数	10
(2) 依頼別検査件数	14
(3) 項目別検査件数	15
a) 食品別検査項目内訳	20
b) 水質別検査項目内訳	24
・ 微 生 物 課	25
・ 理 化 学 課	31
3. 学 会 発 表	37
4. 職 員 名 簿	41
5. 人 事 記 録	42

1. 概 要

(1) 沿革

年	月	事 項
昭和	2 7.	1
		川崎市条例第 2 号（昭和 2 7 年 1 月 9 日）により公衆衛生の向上及び増進に寄与するため川崎市立衛生試験所設置される。
		庁舎は川崎市砂子 1 丁目 7 番地 川崎市中央保健所 2 階の一部を使用する。
	2 7.	2
		川崎市事務分掌条例（昭和 2 2 年川崎市条例第 1 6 号）に基づく事務分掌規則により次の係が設置される。 庶務係 試験係
	3 6.	7
		本市に 4 カ所の原子炉関係施設が設置され、市民からの強い要望にこたえて、川崎市新川通り 7 0 番地川崎市立川崎病院構内に放射能測定室を設置し、業務を開始する。
	3 6.	1 0
		川崎市事務分掌規則の改正により次の係が設置される。
		試験係が廃止され、新たに、試験第 1 係、試験第 2 係となる。
	3 7.	9
		川崎市中央保健所庁舎改築と同時に同庁舎 4 階に移転する。
	4 0.	4
		川崎市事務分掌規則の改正により次の係が設置される。
		試験第 1 係、試験第 2 係が廃止され、
		微 生 物 係
		臨 床 検 査 係
		理化学環境検査係
	4 2.	7
		川崎市事務分掌規則の改正により次の係が設置される。
		理化学環境検査係が廃止され、
		食 品 化 学 係
		環 境 検 査 係
	4 4.	4
		川崎市立川崎病院構内に設置した放射能測定室を閉鎖し環境検査係内に移す。
	4 4.	9
		川崎市大島町 5 丁目 5 番地 2（元川崎市交通局トロリーバス車庫跡地）に庁舎新築起工。
	4 5.	5
		新庁舎竣工。
	4 5.	6
		川崎市条例第 2 号が改正され川崎市衛生研究所条例（昭和 4 5 年 3 月 3 1 日条例第 1 4 号）が新たに施行される。（名称変更と設置場所の変更）
	4 5.	6
		川崎市事務分掌規則の改正により課制を施行。2 課 7 係が設置される。

年	月	事	項
		微生物課	— 庶務係 — 細菌検査係 — 臨床検査係 — ウイルス検査係
		理化学課	— 食品検査係 — 水質検査係 — 環境検査係
昭和	4 5.	6	川崎市衛生研究所新庁舎の開庁式挙行
	4 6.	4	川崎市衛生研究所条例第 6 条に基づく手数料一部追加による改正，施行される。 (昭和 4 6 年 3 月 2 3 日 条例第 6 号)
	4 6.	8	川崎市衛生研究所放射線障害予防規程(昭和 4 6 年 7 月 2 9 日訓令第 1 4 号) が施行される。
	4 6.	1 0	川崎市事務分掌規則の改正(昭和 4 6 年 1 0 月 1 5 日規則第 7 1 号)により， 1 室，(2 課 6 係) が設置される。 同時に川崎市役所機構改革により公害局公害研究所が新設され，庁舎共同使用 として発足。
	4 7.	4	川崎市が指定都市に指定される。(地方自治第 2 5 2 条の 1 9 第 1 項)
	4 8.	1 2	公害研究所庁舎新設に伴い移転。
	5 0.	4	川崎市衛生研究所条例を一部改正施行される。(昭和 5 0 年 4 月 1 日条例第 6 号)
	5 0.	4	川崎市衛生研究所条例施行規則を全面改正施行される。(昭和 5 0 年 4 月 1 日 規則第 2 1 号)
	5 0.	7	4 階に実験室を増築。

施設および建物

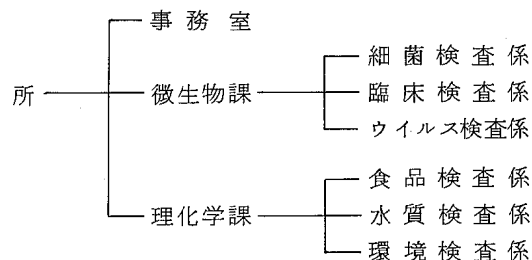
- (1) 敷 地 1, 6 5 2. 8 9 m^2 (5 0 0 坪)
- (2) 建物 鉄筋コンクリート造 4 階建
延面積 2, 2 4 2. 6 0 m^2

階 別 内 訳

階 別	床 面 積	屋 外 階 段	計
1 階	642.50 m^2	4.95 m^2	647.45 m^2
2 階	630.00	23.00	653.00
3 階	630.00	21.85	651.85
4 階	290.30		290.30
計	2,192.80		2,242.60

(2) 機 構

a) 組 織



b) 事務分掌

川崎市事務分掌規則（昭和51年4月30日規則第39号）

（衛生研究所）

第38条 衛生研究所の事務分掌は、次のとおりとする。

事務室

- (1) 所の庶務に関すること。
- (2) 所の維持管理に関すること。
- (3) 検査業務の企画，調査及び統計に関すること。
- (4) 公衆衛生従業者の技術研修の企画実施に関すること。
- (5) 検査容器の消毒及び洗浄に関すること。

微生物課

- (1) 細菌学的検査に関すること。
- (2) 臨床検査に関すること。
- (3) ウイルス学的検査に関すること。

理化学課

- (1) 食品の化学検査及び細菌学的検査に関すること。
- (2) 水質の検査に関すること。
- (3) 環境衛生の検査に関すること。

(3) 人 員 配 置

a) 職員職種別定数

(昭和55年4月1日現在)

職 種 別 課 係 別		総 数	一 般 事 務 職	医 師	薬 剤 師	獣 医 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	化 学 職	自 動 車 運 転 手	用 務 員
総 数		39	5	1	8	4	10	1	7	1	2
所 長		1		1							
事務室	事 務 長	1	1								
	事 務	7	4							1	2
微生物課	課 長	1				1					
	細菌検査係	6				3	2	1			
	臨床検査係	4			1		3				
	ウイルス検査係	4					3		1		
理化課	課 長	1			1						
	食品検査係	5			2				3		
	水質検査係	5			3				2		
	環境検査係	4			1		2		1		

(4) 予 算 (昭和54年度)

a) 歳 入

款 項 目	節	予 算 額	決 算 額
使用料及手数料		円	円
手 数 料			
衛生手数料			
	衛生検査手数料	36,009,000	34,477,720

b) 歳 出

款 項 目	節	予 算 額	決 算 額
衛 生 費		円	円
保健衛生施設費			
衛生研究所費		4 0,9 4 9,0 0 0	4 0,8 7 3,7 9 5
	報 償 費	2 4,0 0 0	2 4,0 0 0
	需 用 費	2 6,5 3 6,0 0 0	2 6,5 2 7,1 1 1
	消 耗 品 費	1 3,2 2 3,0 0 0	1 3,1 0 0,9 6 9
	燃 料 費	1,4 8 7,0 0 0	1,6 9 1,7 1 0
	食 糧 費	1 2 5,0 0 0	1 2 0,0 0 0
	印 刷 製 本 費	4 3 0,0 0 0	2 5 0,3 0 0
	光 熱 水 費	1 0,6 0 6,0 0 0	1 0,6 0 5,6 9 8
	修 繕 料	6 6 5,0 0 0	7 5 8,4 3 4
	役 務 費	1,1 3 1,0 0 0	1,1 2 9,5 2 0
	郵 便 料	3 3 0,0 0 0	2 7 8,4 7 0
	電 話 料	5 6 7,0 0 0	5 7 8,0 9 0
	ク リ ー ニ ン グ	1 5 0,0 0 0	2 0 1,6 0 0
	手 数 料	8 4,0 0 0	7 1,3 6 0
	委 託 料	3,2 7 0,0 0 0	3,2 6 5,8 8 0
	使用料及び賃借料	9,0 6 2,0 0 0	9,0 4 1,5 8 0
	備 品 購 入 費	7 8 0,0 0 0	7 7 6,7 0 4
	負担金補助及び交付金	1 4 6,0 0 0	1 0 9,0 0 0

(5) 行 事

a) 学 会

年 月 日	学 会 名	開 催 地	参 加 者
54. 4. 2~3	第 5 3 回日本感染症学会総会	日 本 青 年 館	中村, 小川(正), 岡田,
2~3	日本衛生動物学会	科 学 技 術 庁 研究交流センター	大久保, 山下 佐藤
4	医 学 総 会	晴 海 国 際 貿易センター	長田
4~5	第 5 2 回日本細菌学会	東海大学湘南 校舎(平塚市)	中村, 大久保, 岡田, 小川(正), 山下
5~6	第 5 2 回日本寄生虫学会	医 科 学 研 究 所	長田

年 月 日	学 会 名	開 催 地	参 加 者
54. 5. 16	日本食品衛生学会	野口英世記念会館	小川(時), 田中, 山本
10. 10	日本昆虫学会	福岡市	佐藤
16~17	第39回日本応用動物昆虫学会	新潟市	小林, 岡田, 飯塚, 吉川
30	第38回日本公衆衛生学会	東京都	斉藤, 春山, 大場
11.1~2	日本ウイルス学会		中村, 大久保, 小川(正)
	第28回感染症東日本総会		大場, 春山
20	第25回神奈川県公衆衛生学会	県保健教育センター	長田 微生物課職員 理化学課職員
20~21	第42回日本細菌学会関東支部総会	野口英世記念会館	中村, 岡田
21~22	第13回日本原生動物学会	大阪市	佐藤

b) 講習会及び研修会

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
54. 4. 20	臨床検査技師研修会	井田病院	飯塚
5. 16	〃	衛生研究所	当所関係職員及び 保健所検査技師
28	県用廃水技術研究会	県勤労会館	湯川
30	家庭用品試験に関する研究会	国立衛生試験所	鈴木, 竹沢
31	県衛生研究所衛生技術講習会	県衛生研究所	山下, 黒岩
6.1~6.30	実務研修 「微量有害物質の測定」	国立公衆衛生院	山田
6.1~6.30	実務研修 「TPHA-FTA-ASC 法を中心とした梅毒検査」	都立衛生研究所	加佐見
6. 17	ウイルス実務研修	東京大学 医科学研究所	斉藤
29	昭和54年度 川崎市公衆衛生研究発表会	川崎市中小企業 婦人会館	長田 微生物課関係職員 理化学課関係職員
7. 7	試験検査業務精度管理研修会	県衛生研究所	春山, 大場, 佐藤
25	家庭用品試験に関する研究会	国立衛生試験所	鈴木
9. 6	県衛生研究所 衛生技術講習会	県衛生研究所	
7~8	第6回 カビ毒研究会連絡会シンポジウム	三浦市 ことね荘	理化学課関係職員 微生物課関係職員
10.2~3	第16回 全国衛生技術協議会	福岡市	山田
16	県用廃水技術研究会	県勤労会館	湯川
19	臨床検査技師研修会	大師保健所	
24	家庭用品試験に関する研究会	国立衛生試験所	鈴木
26	県衛生研究所 衛生技術講習会	県衛生研究所	田中
11.8~9	食品化学特殊技術講習会	国立衛生試験所 国立公衆衛生院	小川, 田中

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
54. 11. 16	臨床検査技師研修会	公害保健センター	
29	県衛生研究所 衛生技術講習会	県 衛 生 研 究 所	大場
	県用廃水技術研究会	神 奈 川 公 会 堂	湯川
55. 1. 23~24	第7回建築物環境衛生管理全国大会 建築物環境衛生管理技術研究集会	砂 防 会 館	入口, 山田
30	家庭用品試験に関する研究会	国立衛生試験所	鈴木
31	県衛生研究所 衛生技術講習会	県 衛 生 研 究 所	湯川
2. 1~29	実務研修 高速液体クロマトグラフによる Mycotoxin 分析法	国立衛生試験所	森
2.14~3.14	特別課程 細菌コース	国立公衆衛生院	岡田
20	54年度 そ族昆虫駆除研究会	横 浜 市 開 港 記 念 会 館	佐藤
26~29	第7回 産業用水技術会議	東京コープビル	湯川, 入口, 吉川, 石塚
3. 7	県衛生研究所 衛生技術講習会	県 衛 生 研 究 所	湯川
19	家庭用品試験に関する研究会	国立衛生試験所	鈴木

c) 職 場 研 修

年 月 日	テ ー マ	講 師 名	場 所
55. 1. 31	キャンピロバクター腸炎の疫学及び検査法について	国立予防研究所第1細菌部 田村和満技官	当 所
3. 19	食品中の石油汚染について その分析技術	国立衛生試験所食品部 第三室長 斉藤行生博士	当 所

d) 会 議

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
54. 4. 11	川崎市伝染病対策協議会 感染症監視部会	中 原 休 日 急 患 診 療 所	長田, 中村
6.19~20	全国地方衛生研究所 所長会及び 臨時総会	厚 生 省	長田
	“ ” 庶務課長会議	“ ”	市川
7. 9~13	79 環境技術全国会議	新 丸 ビ ル	佐野, 山田, 湯川
16	地研関東甲信静地区 ウイルスに関する連絡会	国立予防衛生研 究 所 村山分室	春山
8. 9	県公衆衛生協会 学術部会	保健教育センター	長田
9. 6	地研全国協議会 血中重金属分析担当者会議	都立衛生研究所	佐野, 小野
12~13	昭和54年度 地研全国協議会関東甲信静支部総会	茨 城 県	長田
	“ ” 庶務課長会議	“ ”	市川, 金子

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
5 4. 9.20~21	昭和5 4年度 指定都市衛生研究所長会	名 古 屋 市	長田
10.16~17	昭和5 4年度 地研全国協議会	新 潟 市	長田
2 6	川崎市伝染病対策協議会	幸 休 日 急 患 診 療 所	長田, 中村
11. 2	県政令三市衛生研究所長会	い さ ご 会 館	長田, 市川, 中村, 原田, 金子 神奈川県, 横浜市, 横須賀市
12. 3	微生物検査情報担当者会議	国立予防研究所	長田, 中村
2 5	県政令三市地研連絡協議会	県 衛 生 研 究 所	長田, 市川
2.28~29	家庭用品安全対策行政担当者係長 会議	県 保 会 館 国立衛生試験所	原田, 鈴木

(6) 指 導 訓 練

年 月 日	実 習 対 象	人 員	内 容
5 4. 7.16~21	麻布獣医科大学生	1	細菌検査
5 4. 8. 31~ 5 5. 1. 31	北里大学衛生学部 学生	卒論研修 4	- 河川水, 海水中でのコレラ菌及び腸炎ビブリオの生存に関する研究 - 海水, 河川水中でのサルモネラの生存に関する研究 - サルモネラのゆでたまご及び生たまごでの増殖に関する研究 - おにぎり, たまご焼及びサラダ中でのふどう球菌の増殖に関する研究
5 4. 10. 22 ~ 11. 20	保健所臨床検査技師新任研修	5	} 細菌検査
11.5~9	〃	2	
11.26~30	〃	3	
5 5. 1. 10	北里大学産業衛生学科	30	学生の検査業務の実習
1 7	〃	30	〃

(7) 講 師 派 遣

年 月 日	テ ー マ	講 師 名	依 頼 者
54. 6. 14	衛 生 講 座	長 田 信	高津清掃事務所
8. 27	ふぐほう丁師講習会	頭 本 藤 雄	神奈川県ふぐ協会 川崎支部
10. 31	専攻課 健康教育技法 「健康教育Ⅱ」「合成洗剤」	小 林 勇	国立公衆衛生院
11. 29	新任係長研修 中年からの健康管理	長 田 信	職員研修所
55. 1. 7	〃	〃	〃
3.21~22	コレラ菌の検査方法について	中 村 武 雄 小 川 正 之	県衛生短大

2. 試験検査

(1) 月別検査件数

区分		月別												(昭和54年度)		
細菌検査	分離・同定	54・4	5	6	7	8	9	10	11	12	55・1	2	3	計		
		腸菌(1)	4,421	4,347	3,763	3,888	3,260	3,689	3,130	2,920	2,224	2,933	2,408	39,843		
細菌検査	レノンサ球菌(2)			24	21				21				72	138		
	ジフテリア菌(3)															
	その他の細菌(4)		32	20	19	42		24	20	12	6	8	5	188		
	血清検査(5)		58	72	132	115		156	52	37	34	9	15	680		
化学療法剤に対する耐性検査(6)					1					1				2		
動物試験	動物試験(7)															
	ボリオ(8)															
ウイルス・リケツチア検査	日本脳炎(9)															
	インフルエンザ(10)											20	5	25		
	その他のウイルス・リケツチア(11)															
	ボリオ(12)															
血清検査	日本脳炎(13)															
	インフルエンザ(14)											40	10	50		
	その他のウイルス・リケツチア(15)	59	78	208	236	192	155	112	63	86	324	187	135	1,835		
	動物試験(16)															
結核	培養検査(17)	1						2						3		
	化学療法剤に対する耐性検査(18)	1						1						2		
梅毒(19)		111	98	86	118	125	100	168	265	139	128	125	145	1,608		

性	り	人	病(20)		1	1	2							1	3	1	9
病	そ	の	他(21)														
寄生虫・原虫	寄	生	虫(22)			1	4	4					1	2			12
	原	虫	類(23)				1										1
	殺	虫	剤	効	力	・	耐	性(24)									
	そ	の	他(25)	88	141	93	50	84	84	84	84	84	88	52	48	100	1,033
食中毒	細	菌	学	的	検	査(26)		49	14	5	64	57	16	40	8	110	378
	理	化	学	的	検	査(27)											
病理学・検査(ま	尿			(28)													
	尿	定	性(29)	13		7	1		3	9	2	11	34	20	6		106
		定	量(30)														
	血	血	球	検	査(31)	3	11	1	4	102	3	21	9	7	20	124	305
		理	化	学	反	応(32)	3	11	1	5	3	44	31	19	178	73	368
		液	型(33)		1									3	4	8	
病を毒除(27)	そ	の			他(34)					2							2
		病			理	組	織	学	的	検	査(35)						
	そ	の			他(36)												
		細	菌	学	的	検	査(37)	652	393	399	607	261	146	206	312	313	4,082
	理	化	学	的	検	査(38)	131	124	147	290	184	166	219	231	457	60	2,592
そ	の			他(39)													

次ページにつづく

区分		月別												計
		54・4	5	6	7	8	9	10	11	12	55・1	2	3	
飲料水検査	水道水	細菌学的検査(40)												
		理化学的検査(41)												
	浄水	細菌学的検査(42)	14	5	1	7	17	31	11	33	11	40	25	212
		理化学的検査(43)	15	5	1	8	26	31	11	33	11	39	25	222
	井戸水	細菌学的検査(44)	12	11	2	23	23	11	4	7	3	10	36	151
下水関係検査		理化学的検査(45)	12	11	2	23	23	11	4	7	3	10	36	151
	細菌学的検査(46)													
	理化学的検査(47)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	16
	生物学的検査(48)													
	し尿	細菌学的検査(49)	26	16	16	16	12	16	16	4				106
清掃関係検査		理化学的検査(50)	1				1							2
	生物学的検査(51)													
	その他(52)													
	降下ばいじん(53)													
	大気汚染	浮遊ばいじん												
公害関係検査		自動測定記録計(54)												
		その他(55)												
		硫酸化黄物												
		自動測定記録計(56)												
		その他(57)												
河川汚濁	その他の有害物質(58)											3	3	6
	理化学的検査(59)	39	12	15	30	7	5	3	2	7	1	6	8	135
	その他の(60)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180

(2) 依頼別検査件数

		依 頼 に よ る も の					自 ら 行 な う も の	合 計
		保 (健 査 室) 所	保の 健行 所政 以機 外関	医 療 施 設	学事 校業 及 び所	そ の 他		
細菌検査(1)		1,506	2,277	1,873	3,295	1,292	947	40,851
ウイルス検査(2)		92	300				1,518	1,910
リケッチア検査(3)								
結核(4)				4		1		5
性病	梅毒(5)	1,505		20	38	34	11	1,608
	りん病(6)	2				7		9
	その他(7)							
寄生虫・原虫(8)		8	18			12	1,008	1,046
食中毒(9)		378						378
病理・生化学検査(1)から(9)まで)にかかるものを除く(10)		231	3	81	432	40	2	789
食品衛生(11)		3,795	2,802		21	53	3	6,674
飲検 料水 査	水道水(12)	105	127		202			434
	井戸水(13)	24			110	168		302
下水関係検査(14)			4				12	16
清掃関係検査(15)		6	102					108
公害関係検査(16)		3	111		27		180	321
一般環境(17)		90	615					705
放射能(18)								
温泉(鉱泉)泉質検査(19)								
薬品(20)								
栄養(21)								
その他(22)		23	130					153
計(23)		7,768	6,489	1,978	33,786	1,607	3,681	55,309

(3) 項目別検査件数

			件数	依頼によるもの					自 ら 行 な う の もの	検 査 項 目	件数
				保 健 所	行 政 機 関	医 療 施 設	学 校 事 業 所	そ の 他			
細菌 検査	分離・同定	腸内細菌	39,843	1,485	2,160	1,983	32,956	1,291		1.赤痢菌	37,369
										2.サルモネラ菌	1,244
										3.病原大腸菌	390
										4.腸炎ビブリオ菌	362
										5.コレラ菌	340
										6.ウエルシュ菌	1
										7.病原ブドウ球菌	57
											138
		レンサ球菌	138	21	117						138
		その他の細菌	188	36				1	213		
										1.培養	214
血清検査		血清検査	680	193					734		
										1.凝集反応	734
		化学療法剤に対する耐性検査	2	1		1					
										1.ディスク法	2
小 計			40851	1,736	2,277	1,984	32,956	1,291	947		
ウイルス・リ ケッチア検査	分離同定	インフルエンザ	25		25					1.鶏卵培養	25
	血清検査	インフルエンザ	50		50					1.H I	50
		その他のウイルス・リケッチア	1,835	190	225				1,526	1.N I	168
										2.H I	1,392
										3.H B 試験	225
		小 計			1,910	190	300				1,526
結核	培養検査	培養検査	3	2		1		1		1.喉粘培養検査	3
										2.その他	1

		件数	依頼によるもの					自 ら 行 な う の	検 査 項 目	件数
			保 健 所	行 政 機 関	医 療 施 設	学 校 事 業 所	そ の 他			
結 核	化学療法剤に対する耐性検査	2	1		1				1.SM, PAS, INH	2
小 計		5	3		2		1			
性 病	梅 毒	1,608	1,505		18	38	34	11	1.現 行 三 法 2.定 量 法 3.T P H A 法	1,545 12 51
	淋 病	9	3				7			9
	寄 生 虫 ・ 原 虫	寄 生 虫	12	2				12		1.蛔 虫 2.蟯 虫
原 虫 類		1	1						1.トキソプラズマ	1
そ の 他		1,033	143	18				1,008		1,033
小 計		2,663	1,654	18	18	38	53	1,019		
食 中 毒	細菌学的検査	378	378						1.赤 痢 菌 2.サルモネラ菌 3.腸炎ビブリオ菌 4.病原大腸菌 5.病原ブドウ球菌 6.ウェルシュ菌	377 378 378 377 377 328
	小 計	378	378							
病 理 生 化 学 的 検 査	定 性	106	20		48	41	8		1.蛋 白 2.ウロビリノーゲン 3.沈 渣 4.そ の 他	6 6 11 89
	尿									

		件 数	依 頼 に よ る も の					自 ら 行 な う の	検 査 項 目	件数
			保 健 所	行 政 機 関	医 療 施 設	学 校 事 業 所	そ の 他			
病 理 ・ 生 化 学 的 検 査	血 球 検 査	305	61	1		235	20			
									1.赤 血 球	275
									2.白 血 球	269
									3.血 液 像	38
									4.ヘマトクリット	28
									5.赤血球沈降速度	19
	理 化 学 反 応	368	199		24	154	10	2		
									1.モイレングラハト	2
									2.チモール反応	1
									3.硫酸亜鉛反応	2
									4.尿 素 窒 素	24
									5.アルカリフォース ファターゼ	2
									6.トランス アミナーゼ	GOT 5 GPT 6
									7.血液ジアスターゼ	1
									8.血 糖	230
									9.総コレステロール	129
									10.血漿血清蛋白量	14
									11.血 色 素 量	139
									12.全 血 比 重	38
									13.そ の 他	206
	血 液 型	8	4			2	2			
									1 A B O 式	8
									2. R h 式	7
	そ の 他	2	2	2						4
小 計		789	286	3	72	432	40	2		
食 衛 品 生	細菌学的検査	4,082	3,072	957			53			11,469
	理化学的検査	2,592	723	1,845		21		3		6,480
小 計		6,674	3,795	2,802		21	53	3		

次ページにつづく

				件 数	依頼によるもの					自 ら 行 な う の もの	検 査 項 目	件数		
					保 健 所	行 政 機 関	医 療 施 設	学 校 事 業 所	そ の 他					
飲 料 水 検 査	水 道 水	浄 水	細菌学的 検 査	212	53	58		101				424		
		理化学的 検 査	222	52	69		101				3,122			
	小 計			434	105	127		202						
	井 戸 水	細菌学的検査	151	12			55	84			302			
		理化学的検査	151	12			55	84			1,963			
	小 計			302	24			110	168					
下 水 関 係 検 査	理 化 学 的 検 査		16		5				12		172			
	小 計			16		5				12				
清 掃 関 係 検 査	し 尿	細菌学的検査	106	6	100					1.浄化槽放流水	40			
		理化学的検査	2		2						6			
	小 計			108	6	102								
	公 害 関 係	大 気 汚 染	その他の有害 物質	6	3	3					煙 道 排 出 ガ ス	1.温 度	6	
									2.水 分	6				
									3.流 速	6				
									4.ば い じ ん 量	6				
									5.いおう酸化物	5				
									6.窒 素 酸 化 物	5				
河 川 汚 濁				理化学的検査	135		108		27					1.河 海 水 底 質
											2.産 業 排 水	285		

			件数	依頼によるもの					自 ら 行 な う の	検 査 項 目	件数
				保 健 所	行 政 機 関	医 療 施 設	学 校 事 業 所	そ の 他			
公 関 害 係	河 汚 川 濁	そ の 他	180						180	1.細菌学的検査	1,080
小 計			321	3	111		27		180		
一 般 環 境	一 般 室 内 環 環		587	90	497					1.気 温	146
										2.気 湿	146
										3.気 動	146
										4.じ ん あ い	146
										5.炭 酸 ガ ス	146
										6.照 明	146
										7.落 下 細 菌	722
										8.真 菌	10
										9.そ の 他	146
	ブ ー ル 水		118		118						236
小 計			705	90	615						
そ の 他			153	23	130					1.家 庭 用 品	199
										2.そ の 他	2
小 計			153	23	130						

a) 食品別検査項目内訳

食品種別	試験項目 食品名	検 体 数	保存料			殺菌料		酸化防止剤		漂白料	発色剤	甘味料	合 成 着 色 料			
			デ ヒ ド ロ 酢 酸	ソ ル ビ ン 酸	安 息 香 酸	過 酸 化 水 素	プ ロ ピ オ ン 酸	B H A	B H T	亜 硫 酸 塩	亜 硝 酸 塩	サ ッ カ リ ト リ ウ ム		無 脂 乳 固 形 分	乳 固 形 分	乳 脂 肪 分
魚介類	生鮮魚類	106														
	貝類	7														
	たこ, かに, いか, えび	9								6						
	その他(海草, 鯨)															
魚介類加工品	塩干物	18		1		5					10	1	7			
	ねり製品	100		87		51						3	13			
	つくだに	52		49						6			18			
	鯨肉製品	17		10		5				1	10					
	その他	68		51	1			3	3	4		3	17			
乳肉製品	肉, 卵類, その加工品	216		131							185					
	乳製品	56		2										16	28	7
	乳類, 加工品															
	アイスクリーム類, 氷菓	64											17		46	25
	牛乳類	120												113		113
農産物	穀類	51														
	穀類, 加工品	243	14			217	3						11			
	野菜, 果実, 豆類	103		3						35			4			
	野菜, 果実, 豆類, 加工品	105	3	41						44		7	12			
	つけもの, 煮豆	131		128						13		32	73			
	調味料	95		24	111				3		1		2			
その他の食品	菓子類	388	4	93			36			19		8	252			
	清涼飲料水	31			2											
	酒, 精飲料	13		10				1	1	11						
	その他食品	24								2						
添加物	液状かんすい	278														
	固型かんすい	79														
その他	器具, 容器, 包装	68						5	15				3			
	おもちゃ	50											49			
	その他															
	合計	2492	21	630	114	278	39	9	22	141	206	54	478	129	74	145

そ の 他 の 試 験 項 目																				総 項 目 数
酸 度	比 重	過 酸 化 物 価	揮 発 性 塩 基 窒 素	ヒ ス タ ミ ン	P C B	重 金 属 (P B d C 除)	ヒ 素	鉛	カ ド ミ ウ ム	水 銀	農 薬	ホル ム アル デ ヒド	フ エ ノ ール	過 マ ン ガ ン 酸 量	カ リ ウ ム 消 ヒ 量	螢 光 染 料	蒸 発 残 留 物	塩 ビ モ ノ マー	フ タ ル 酸 エ ス テル	そ の 他
2			2		17	124	31	31	31	98										18
					3	20	15	15	15	15										6
3			3																	
2			2	2																
2		2	2	2																
																		1		
8		8																		
7		5	2		5											2			1	
1					3															7
113	113				6						24									
									51											
7		7																		
					3	44	5	5	8		421								30	
17		17																1	43	4
																			2	
						3	3											2	3	27
45		45																1		44
111						72	18	18												
						2	1	1	1										1	2
16		16				12	3	3							2					11
	278					241	278	37												834
						70	79	9												316
					3	21	8					14	14	14	11	14	55	18		195
						15	14													78
234	391	100	11	4	40	624	455	119	106	113	445	14	14	16	13	14	60	98	1269	6480

区分	検査項目		細菌数	大腸菌群	ぶどう球菌	サルモネラ菌	腸炎ビブリオ	乳酸菌	真菌	E. coli	耐熱性菌総数	細菌試験	病原大腸菌	シエルシユ菌	赤痢菌	コレラ菌	合計	検体件数
	鮮魚	魚	2	2			2									3	9	2
魚介類及びその加工品	生か	き	12							12							24	12
	貝類	類	33	33	2	2	42						2	2	2	2	120	33
	その他	他	433	433	37	7	433						7	7	7		1,364	282
	魚肉ハム・ソーセージ	ジ	15	15	1	1	1						1	1	1		36	16
	魚肉ねり製品	品	112	112	7	5	3						3	3	3		248	106
	魚介乾製品	品																
	その他	他																
	鯨肉	肉	1	1													2	1
	鯨肉製品	品	10	10													20	10
	食肉	肉	2	2		2											6	2
食肉及び加工品	食肉製品	品	161	161	10	39	1						1	1	1		375	154
	卵	卵																
	卵加工品	品	1	1		1											3	1
	乳	乳	110	110													220	102
	乳製品	品	82	126	20			24					16				268	105
卵及び加工品	乳等を主原料とする食品	品	6	6													12	4
	めん類	類	96	96	10	1	1						1	1	1		207	87

穀類の 類及加工 ・大豆品	豆		51	51	13	1	1										1	1	1		120	39
	納	腐	1	1		1															3	1
	そ	の	15	15					30								1				61	31
野菜の 類及加工 果実品	漬	物					9	9									9	9			54	9
	そ	の																				
	冷	凍	94	41	2	3				53											193	94
弁 当 ・菜	弁	当	329	329	331	25	40										25	25	25		1,129	293
	調	理	60	60	60	14															194	60
	そ	う	488	488	334	260	50										51	50	50		1,771	507
調味料	み	そ・しょうゆ等	1	1																	2	1
	菓	子	280	280	217	1	1		1								1	1	1		783	282
	マ	ー																				
油脂類	清	涼	41	41	7	2	2										2	2	2		99	35
	粉	末																				
	酒	精	2	2					1												5	3
飲 料 類	氷	菓	48	48	1	1	1										1	1	1		102	49
	氷	雪	42	42																	84	63
	レ	ト															49				49	43
そ の 他 の 食 品	そ	の	109	109	28	2	2		12								4	2	2		320	92
	器	具	691	691	352	111	103	30	70								111	82	82		2,323	819
	手	指	193	193	249	67	67		4								75	67	67		982	258
ふ き と り	ふ	きん・おしぼり	85	85	77	2	2		24								2	2	2		281	87
	合	計	3606	3585	1767	557	761	54	142	65	50	49	314	257	257	5					11,469	3683

b) 水質別検査項目内訳

件数	外観・濁度・色度・臭味		P	窒素化合物	過マンガン酸消費量	硬度	陽イオン類	陰イオン類	蒸発残留物	残留塩素	溶存酸素	C O D	B O D	浮遊物質	陰イオン活性剤	n・ヘキサン可溶性物質	その他の理化学試験	一般細菌数	大腸菌群	その他の細菌学的試験
	浄水	(細)貯槽水	424															212	212	
飲料水検査	水道水	(理)貯槽水	3,360	663	221	221	392	252	221	222					21		42			
	井戸水	(細)井戸水	302															151	151	
	井戸水	(理)井戸水	1,963	453	151	151	151	151	151											
	(細)下水																			
下水関係	(理)下水		172				84	20					12			4	40			
	し尿	(細)浄化放流水	200																100	100
		浄化槽水	12																	
公害	(理)浄化槽水	6												2	2	2				
	河川水・底質	910		16			401	66			16	19	19	30			308			
	産業排水	285					121	22	11			11	11	11	3	29	55			
	その他の汚濁	1,080																180	180	720
環境	その他																			
	その他																			
一般環境	その他	236																118	118	

微生物課

細菌検査係

1. 腸内細菌検査

1) 健康者からの赤痢菌、サルモネラ菌の検出状況

健康者（給食従事者、食品取扱者及びその他一般）の検便からの赤痢菌、サルモネラ菌の検出状況は表1に示すとおりである。検査件数は35,530件であり、赤痢菌は検出されなかった。サルモネラ菌（SS寒天培地上で検出されたもの）は、13件（0.04%）であった。

2) 医療機関依頼の下痢症患者からの病原菌検出状況

下痢症患者からの病原菌検出状況は表2に示すとおりである。

表1. 健康者からの赤痢菌及びサルモネラ菌検出状況
(昭和54年4月～55年3月)

年 月	検査件数	赤 痢 菌	サルモネラ菌
54. 4	2,735	0	0
5	4,136	0	2(0.05)
6	4,010	0	3(0.07)
7	3,418	0	2(0.06)
8	2,796	0	1(0.04)
9	2,807	0	0
10	3,467	0	1(0.03)
11	2,626	0	0
12	2,616	0	1(0.04)
55. 1	2,071	0	1(0.05)
2	2,712	0	2(0.07)
3	2,136	0	0
計	35,530	0	13(0.04)

表2. 下痢症患者からの病原菌検出状況(昭和54年4月～55年3月)

年 月	検査件数	赤痢菌	サルモネラ菌	腸炎ビブリオ	病原大腸菌	エルシニア菌	NAGビブリオ	病原菌検出件数
54. 4	17	0	1(5.9)	1(5.9)	0	0	0	2(11.8)
5	29	0	2(6.9)	0	2(6.9)	0	0	4(13.8)
6	79	0	5(6.3)	2(2.5)	1(1.3)	0	0	8(10.1)
7	107	0	6(5.6)	20(18.7)	3(2.8)	0	1(0.9)	30(28.0)
8	151	0	10(6.6)	45(29.8)	1(0.7)	0	1(0.7)	57(37.7)
9	97	0	2(2.1)	23(23.7)	2(2.1)	0	0	27(27.8)
10	54	0	5(9.3)	4(7.4)	4(7.4)	0	0	13(24.1)
11	63	1(1.6)	2(3.2)	0	0	0	0	3(4.8)
12	49	0	1(2.0)	0	1(2.0)	0	0	2(4.1)
55. 1	33	0	0	0	0	0	0	0
2	26	0	0	0	0	0	0	0
3	27	0	1(3.7)	0	0	0	0	1(3.7)
計	732	1(0.1)	35(4.8)	95(13.0)	14(1.9)	0	2(0.3)	147(20.1)

検査件数732件中、赤痢菌1件(0.1%)、サルモネラ菌35件(4.8%)、腸炎ビブリオ95件(13.0%)、病原大腸菌14件(1.9%)、NAGビブリオ2件(0.3%)であり、エルシニア菌は検出されなかった。それら病原菌が検出されたもの147件(20.1%)であった。

2. 食中毒発生状況

昭和54年度の市内食中毒発生事例は表3に示すとおりである。発生事例は10例であり、病因物質別にみると、ぶどう球菌5例、腸炎ビブリオ3例、病因物質不明2例であった。

表3. 市内発生食中毒事例(昭和54年4月～55年3月)

No.	年月日	病因物質	摂食者数	患者数	死者数	原因食品	摂食場所
1	54.4.1	ぶどう球菌	不明	29	0	ベビーシュークリーム	一般家庭
2	4.25	ぶどう球菌	不明	23	0	弁当	社内、事業所
3	6.28	ぶどう球菌	2	2	0	弁当	一般家庭
4	7.1	ぶどう球菌	23	9	0	おにぎり弁当	事業所
5	7.24	ぶどう球菌	103	19	0	おにぎり弁当	事業所
6	8.3	不明	44	12	0	(推)弁当	事業所
7	8.26	腸炎ビブリオ	32	17	0	ずわいガニ	一般家庭
8	8.28	腸炎ビブリオ	11	5	0	不明飯	場
9	9.24	不明	1	1	0	弁当	事業所
10	10.13	腸炎ビブリオ	17	3	0	ちらし	一般家庭

3. 感染症サーベランス事業

百日咳の抗体価分布及び菌分離状況は表4、5に示すとおりである。抗体価陰性率についてみると、0～3才では、ワクチン株71.1%、新分離株39.8%、4～6才では、ワクチン株31.1%、新分離株9.4%、7～10才では、ワクチン株12.2%、新分離株10.2%であった。また菌分離状況は、検査件数215件中28件であった。

表4. 百日咳の抗体価分布(昭和54年4月～55年3月)

年令	検査件数	抗原	抗体価								
			<10	10	20	40	80	160	320	640	1280≤
0～3	374	ワクチン株	266	53	26	16	2	7	1	2	1
		新分離株	149	94	46	34	24	16	4	3	4
4～6	106	ワクチン株	33	24	15	12	11	8		2	1
		新分離株	10	37	26	8	13	5	5		2
7～10	49	ワクチン株	6	7	6	12	5	9	2	2	
		新分離株	5	15	14	5	5	4			1
計	529										

4. 河川水等の定点観測

河川水等から分離した病原菌検出状況は表6に示すとおりである。毎月15検体、延べ180検体について検査を行ない、赤痢菌、コレラ菌、腸チフスは検出されなかった。NAGビブリオ79件(43.9%)、腸炎ビブリオ8件(4.4%)、パラチフス(*S. paratyphi B*)8件(4.4%)、その他サルモネラ158件(87.8%)に検出された。

表5. 百日咳菌の分離状況
(昭和54年4月~55年3月)

検査件数	陽性数
215	28

表6. 河川水等から分離した病原菌検出状況(昭和54年4月~55年3月)

検査項目	年 月												計
	54 4	5 5	6 6	7 7	8 8	9 9	10 10	11 11	12 12	55 1	2 2	3 3	
赤 痢 菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コ レ ラ 菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N A G ビ ブ リ オ	5	9	13	11	9	13	7	4	3	1	1	3	79(43.9)
腸 炎 ビ ブ リ オ	0	0	2	0	3	3	0	0	0	0	0	0	8(4.4)
サ 腸 チ フ ス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
モ パ ラ チ フ ス	0	0	0	0	4	1	0	1	0	1	0	1	8(4.4)
ネ その他サルモネラ	13	15	13	14	13	13	13	14	13	13	12	12	158(87.8)
検 査 件 数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180

5. 食品細菌検査

食品細菌検査件数は表7に示すとおりである。検査件数は3,543件であり、そのうち違反食品(川崎市の食品等の衛生指導基準による)が多く検出された食品は、鮮魚介類(さしみ、すし種、貝類等)、めん類、弁当類、そう菜、菓子類であった。

表7. 食品細菌検査件数 (昭和54年4月～55年3月)

品	目	検体数		違 反 件 数			
		類	細菌数	大腸菌群	ぶどう球菌	サルモネラ菌	腸炎ビブリオ E.coli 真 菌
魚介類及びその加工品	魚介類	492	165(33.5)	173(35.2)			34(6.9) 1(0.2)
	魚肉ハム・魚肉ねり製品	127	9(7.1)	7(5.5)			
鯨肉及びその加工品	鯨肉製品	11					
食肉及びその加工品	肉	2				1(50.0)	
	肉製品	126	5(4.0)	16(12.7)			
卵及びその加工品	加工品	1					
乳及びその加工品	乳	110					
	乳製品	104		2(1.9)			
穀類・豆類及びその加工品	乳等を主原料とする食品	6					
	その他の	31	1(3.2)	9(29.0)			
冷凍食品	めん類	96	21(21.9)	3(3.1)			
	豆腐	51	2(3.9)	1(2.0)			
弁当・そう菜	その他の	31					13(41.9)
	冷凍食品	94					1(1.1)
調味料	弁当類	389	95(24.4)	123(31.6)			
	そう菜	523	102(19.5)	119(22.8)			
菓子類	みそ・しょうゆ等	1					
	菓子類	281	31(11.0)	56(19.9)			
飲料	清涼飲料水	36					
	酒類	3					
その他の食品	その他の	22		3(13.6)			
	水	48					
ふきとり	その他の	153					
	器具	587		122(20.8)			1(0.2)
その他	手指	197		75(38.1)	1(0.5)		
	その他の	21					
計		3,543					

臨床検査係

前年度に比し特に変化したのは、梅毒検査件数の大巾減、H B検査業務の新設、肝機能検査（生化学的）の増加である。梅毒検査の減少は、前年行った市立川崎病院からの依頼が中止になったためである。H B検査は、本市関係職員の抗体及び抗原保有調査業務が新設されたためである。また、生化学関係検査の増加は市内の一部保健所からの成人健診業務からの依頼によるものである。

ウイルス検査係

1. インフルエンザ検査

昭和55年2月上旬から3月中旬までの集団かぜによる学級閉鎖数は27校、72学級であった。

ウイルス検査は学級閉鎖を実施した5集団を選び、1集団5名ずつの合計25名の患者からうがい液と血液を採取して行った。

インフルエンザウイルスはA H₁ N₁型16株、A H₃ N₂型3株の計19株が分離された。また血清学的には25名中18名はA H₁ N₁型、5名はA H₃ N₂型ウイルス感染が認められた。

なお、同一集団から2種類のインフルエンザウイルスは分離されなかった。

2. 風疹の抗体検査

昭和54年度の月別検査件数は表に示すとおりである。

3. 感染症サーベランス事業

10才以下を対象に麻疹、風疹ならびにおたふくかぜの抗体調査を行った。

それぞれのウイルスに対する検査件数と抗体保有率は表に示すとおりである。

年 月	検査件数	年 月	検査件数
54. 4	4	54.10	14
5	9	11	5
6	6	12	6
7	8	55. 1	8
8	9	2	8
9	7	3	8
合 計		92	

検査項目 年令才	麻 疹		風 疹		おたふくかぜ	
	検査件数	HI抗体保有率(%)	検査件数	HI抗体保有率(%)	検査件数	中和抗体保有率(%)
< 1	54	13.0	54	27.8	11	9.1
1 ~ 2	94	30.9	93	5.4	16	18.8
3 ~ 4	84	73.7	82	14.6	23	52.2
5 ~ 6	71	81.7	73	24.7	20	70.0
7 ~ 8	42	92.9	43	55.8	20	75.0
9 ~ 10	28	89.3	30	70.0	10	90.0
計	369		375		100	

4. 衛生動物検査

食品衛生課および各保健所から食品混入物としての昆虫類の分離同定依頼が16件、また、住民からの昆虫同定依頼が4件あった。

理 化 学 課

食 品 検 査 係

1. 食品添加物検査

食品衛生課および7保健所から搬入された収去食品2,229検体について検査を実施した。添加物使用基準不適のものは17検体であり、その内訳は、過量使用の亜硫酸塩（ほしあんず4.43 g/kg, コーンスターチ0.056 g/kg, しなちく0.078 g/kg, 甘なっとう0.20 g/kg）、過酸化水素（うどん、焼そば等11検体0.11 g/kg～0.38 g/kg）、亜硝酸塩（ソーセージ0.14 g/kg）および不正使用の亜硫酸塩（もやし0.011 g/kg）であった。

2. 製 品 検 査

液状かんすい278検体、粉末かんすい79検体の計357検体について検査を実施した結果、いずれも規格に適合した。

3. 合成樹脂検査

ポリプロピレン製ストロー、容器等10検体についてBHTの溶出試験を実施した結果、全検体から溶出が認められた。溶出濃度は、0.2 ppm～2.9 ppm、平均値1.44 ppmであった。

塩ビ樹脂容器入り食品5検体について塩ビモノマーの検査を実施した結果、材質中は1.0 ppm以下、食品中からは不検出であった。

4. 果実中の防ばい剤検査

かんきつ類のジフェニール（DP）、オルトフェニルフェノール（OPP）、バナナのチアベンダゾール（TBZ）の検査結果は表1のとおりである。

表1. 果実中のDP, OPP, TBZ検査結果

試 料 名	検 体 数	(ppm)		
		DP	OPP	TBZ
グレープフルーツ	3	n.d～3.0	0.2～3.0	—
レ モ ン	2	n.d	0.4～1.0	—
オ レ ン ジ	3	n.d～24.0	0.5～2.0	—
ア ウ ト ス パ ン	1	n.d	n.d	—
ラ イ ム	1	n.d	n.d	—
バナナ（果肉）	5	—	—	n.d
バナナ（果皮）	5	—	—	n.d～0.3

5. カドミウム検査

市内産玄米 51 検体についてカドミウムおよびカドミウム化合物の検査結果は cd として 0.04 ppm ~ 0.4 ppm の範囲で検出され、平均値は 0.12 ppm であった。

6. 油脂使用食品の変敗検査

揚げ菓子 40 検体について、油脂分および酸価、過酸化物質の検査を実施した結果、平均値で油脂分（粗脂肪として）25.3%，酸価 1.01，過酸化物質 3.23 meq/kg であった。指導規準値をこえたものは、ポテトチップの 1 検体であり、酸価 4.00，過酸化物質 8.45 meq/kg であった。

水 質 検 査 係

1. 飲料水試験

昭和 54 年度実施の一般飲料水検査件数は 376 件でその内容は表のとおりである。

表 一般飲料水検査結果

種 別		井 戸 水	貯 槽 水	船 舶 水	簡 易 専 用 水 道 水
検 査 件 数		157	15	126	78
不 適 件 数		91	1	48	7
不 適 率 (%)		58.0	6.7	38.1	9.0
不 適 項 目 (件 数)	外 観	26	0	1	1
	臭 味	1	0	0	0
	P H	0	0	9	0
	塩 素 イ オ ン	1	0	0	0
	過マンガン酸カリウム消費量	7	0	0	0
	鉄	25	1	8	3
	総 硬 度	3	0	0	0
	蒸 発 残 留 物	1	0	0	0
	一 般 細 菌	60	0	41	1
	大 腸 菌 群	44	0	6	2

検査件数を前年度比でみると、井戸水（高津・多摩で総数の 86%）は 1 割減少、船舶水は逆に 3 割増加、貯水槽は、引き続き行政依頼のみ実施しているので 4 割減少した。

不適率および不適項目順位は、井戸水、船舶水ともに前年度とほぼ同じであったが、外観、PH において若干増加がみられた。又、不適項目に、臭味、塩素イオン、蒸発残留物が各 1 件ずつあ

った。本年４月から改正になった水質基準について不適となったものは、１件もなかった。

2. 底質、産業廃棄物の検定

- 川崎港内東扇島埋立および浮島地先廃棄物埋立地造成にもとづく周辺海底土砂浚渫のため、底質４１検体の海防法施行令による検定を行なった。このうち、３２検体（１６地点）の底質表層（０ｍ）と中層（－１ｍ）試験結果について溶出試験（環境庁告示第１４号）で検出された項目、検出数、平均値、範囲を表－１に示す。基準値を超えたものはＰＣＢ２検体のみであった。

表－１ 底質試験結果（溶出試験）

検出項目	０ ｍ			－ １ ｍ		
	検出数	平均値	範囲	検出数	平均値	範囲
水 銀（ mg/ℓ ）	8	0.0009	0.0005～0.0010	6	0.0012	0.0005～0.0026
鉛（ mg/ℓ ）	7	0.06	0.02～0.13	7	0.05	0.02～0.13
カドミウム（ mg/ℓ ）	1	0.001		2	0.001	0.001
ひ 素（ mg/ℓ ）	1	0.03		1	0.05	
P C B（ mg/ℓ ）	4	0.0040	0.0001～0.014	1	0.002	

底質試験における水銀の含有量試験について表－２に示す。その値はすべて暫定基準値以下であった。

また、危険率５％で０ｍ、－１ｍにおける濃度差はなかった。

表－２ 底質試験における水銀の試験結果

項 目	０ ｍ		－ １ ｍ	
	平均値	範囲	平均値	範囲
Hg（ mg/kg ）	1.09	0.05～3.78	1.24	0.05～3.52

- 産業廃棄物については、有機性汚でい１３検体、水溶性無機性汚でい１検体、非水溶性無機性汚でい５検体、廃酸３検体、廃アルカリ１２検体の計３４検体について検定を行った。

有機性汚でいについて検出された項目はHg（0.005～0.082 mg/kg ）９検体、Cd（0.07～1.65 mg/kg ）５検体、Pb（0.7～29.2 mg/kg ）７検体、有－Cl（9.9～690 mg/kg ）９検体、油分（6.0～32.5 mg/kg ）５検体、PCB（0.02～0.03 mg/kg ）２検体であった。基準値以上検出されたものは、有－Cl ３検体のみであった。非水溶性無機性汚でいについて検出された項目は Cr^{6+} （0.19 mg/ℓ ）１検体、油分（3.0 mg/ℓ ）１検体、Cd（0.91 mg/ℓ ）１検体、有－Cl（44.8 mg/ℓ ）１検体であった。基準値以上検出されたものは有－Clであった。廃酸についてはHg（0.001 mg/ℓ ）１検体、有－Cl（6.16 mg/ℓ ）１検体、廃アルカリについて

は Hg (0.004 mg/ℓ) 1 検体であり、廃酸、廃アルカリとも基準値を超えたものはなかった。

3. 浮島埋立地周辺海水調査

浮島埋立地周辺の海水水質調査を 4 地点について 3 回 (年間) 実施した。

検出された項目についての平均値と範囲を表に示した。

表 海水水質調査結果

項 目	平均値	範 囲	項 目	平均値	範 囲
P H	8.1	8.0 ~ 8.5	リン酸態リン mg/ℓ	0.08	0.04~0.12
浮 遊 物 質 mg/ℓ	3.5	1.0 ~ 6.6	大 腸 菌 群 MPN/100ml	147	13~3,500
C O D mg/ℓ	4.1	1.1 ~ 6.8	フ ッ 素 mg/ℓ	0.67	0.48~0.82
B O D mg/ℓ	3.4	1.1 ~ 12.9	溶解性マンガン mg/ℓ	0.02	0.00~0.07
溶 存 酸 素 量 mg/ℓ	7.4	3.3 ~ 10.1	亜 鉛 mg/ℓ	0.01	0.00~0.02
総 窒 素 mg/ℓ	2.3	0.50~5.05	溶 解 性 鉄 mg/ℓ	0.02	0.00~0.05

4. 当施設最終下水水質測定と有害物質含有廃液処理について

下水道法に基づく衛研排水検査を毎月 1 回実施しているが、表-1 にその結果を示した。

測定値は、基準値以下であった。

表-1 最終下水水質測定結果

検 出 項 目	P H	B O D (mg/ℓ)	亜 鉛 (mg/ℓ)	溶解性鉄 (mg/ℓ)
平 均 値	7.2	22.9	0.14	0.08
範 囲	6.1 ~ 7.8	16.6 ~ 36.5	0 ~ 0.30	0.04 ~ 0.10

また、表-2 の有害物質含有試験検査廃液処理量は、重金属系 250 ℓ、クロム系 34 ℓ、シアン系 12 ℓ、水銀系 25 ℓ の計 321 ℓ であった。

前年処理量に比べて、減少しているのは、分析方法の改正により有害物質を使用しない方向になってきたためと思われる。しかし、水道法の改正により、Cd、Cu 含有廃水の処理量は増加している。

表-2 有害物質含有廃液処理量

年 度	50	51	52	53	54
処 理 量 (ℓ)	477	518	430	380	321

環 境 検 査 係

1. 建築物の環境検査

ビル衛生管理法にもとづく公共施設3カ所を測定したところ、浮遊粉じん量は73測定地点のうち61地点で管理基準値以上であった。また、公共施設6カ所の煙道中ばいじん量、硫黄酸化物および窒素酸化物を測定したが、いずれも規制値以下であった。

2. 家庭用品検査

- 1) 衣服類(下着, 帽子, くつした, 手袋), 接着剤等75検体のホルムアルデヒドの試験結果は不適合なものが1検体(1.3%)であった。この1検体は帽子(24月以内)であった。
- 2) 家庭用洗浄剤中の塩化水素, 硫酸および容器9検体について試験した結果, すべて適合であった。
- 3) 家庭用塗料, 靴クリーム, 靴下, おむつカバー12検体について有機水銀化合物の試験をした結果, すべて適合であった。
- 4) 衣服類(外衣, 毛糸, 手袋, 帽子)12検体についてディルドリンの試験をした結果, すべて適合であった。
- 5) その他塩化ビニルモノマー(家庭用エアゾール製品)2検体, APO・TDBPP(毛布)2検体, トリフェニル錫(家庭用塗料, 接着剤)3検体について試験した結果, すべて適合であった。
- 6) 家庭用品の規制対象外である洗たく用粉石けん6検体についてJIS規格試験(水分, 純石けん分, 遊離アルカリ等7項目)を実施した結果, すべて適合であった。

3. PCB検査

食品および容器包装等40検体についてPCBを分析した。その結果は表-1に示すとおりである。このうち21検体(52.5%)にPCBが検出されたが、暫定的規制値を越えたものはなかった。また、魚介類の最高は、やまべ1ppmであった。

表-1 PCB 分 析 結 果

単位: ppm

検 体 名		検 体 数	検 出 件 数	検 出 範 囲	平 均 値	暫 定 的 規 制 値
魚 介 類	内海内湾	15	14	nd~1	0.163	3
	遠洋沖合	5	5	0.03~0.1	0.052	0.5
牛	乳	6	2	nd~0.005	0.002	0.5
育 児 用	粉 乳	3	0	nd	—	0.2
鶏	卵	2	0	nd	—	0.2
容 器	包 装	3	0	nd	—	5
肉	類	3	0	nd	—	0.5
野	菜	3	0	nd	—	—

4. 総水銀検査

魚介類113検体のうち、暫定的規制値のあるもの105検体について分析した結果、すべて規制値以下（0.004～0.14，平均値0.033 ppm）であった。また規制値のない、やまべ0.03 ppm，ふな0.04 ppm，0.11 ppm，こい0.04 ppm等があった。

5. 魚介類の重金属検査

魚介類38検体の分析結果は表－2に示すとおりである。

表－2 魚介類の重金属分析結果

単位：ppm

	検体数	銅	鉛	カドミウム	マンガン	クロム	亜鉛	ヒ素
魚類	32	0.12～2.40	nd～0.12	nd～0.08	0.09～4.51	nd～12.40	2.32～32.47	nd～5.72
貝類	6	0.81～1.46	nd～0.05	nd～0.03	1.99～9.03	nd～0.02	6.70～27.50	0.96～2.21

6. 残留農薬検査

本市内産の日本なし，きゅうり，キャベツ，トマト，はくさい等9種33検体について分析した。その結果，基準値を越えたものは，きゅうりのディルドリン（0.009 ppm），エンドリン（0.025 ppm）1検体であった。また学校給食用に搬入されたりんど，牛乳の6検体については，すべて基準値内であった。

3. 学 会 発 表

昭和54年度 川崎市公衆衛生研究発表会

昭和54年6月29日

川崎市中小企業婦人会館

河川等の環境調査 ……… 細菌学的検査

大久保吉雄, 岡田京子, 小川正之, 山下雅嗣, 黒岩潔, 中村武雄

衛生局 環境衛生課 生活環境係

各保健所 公衆衛生課 生活環境係

食品中におけるサルモネラの消長について ……… サラダ, タマゴ焼

山下雅嗣, 大久保吉雄, 岡田京子, 小川正之, 黒岩潔, 中村武雄

衛生局 食品衛生課

梅毒血清反応検査方法による検討

飯塚郁夫, 加佐見洋子, 倉塚太刀夫, 小林勇

麻疹に関する血清疫学調査

大場初義, 斉藤充司, 春山長治, 中村武雄, 松本良夫, 浜村嘉允, 村島新吉

果実製品中のパツリン微量分析法に関する研究

森悦男, 小野勝美, 行方源六

川崎港内底質中(0 m, -1 m)の重金属調査について

湯川茂夫, 入口政信, 石塚美恵子, 吉川サナエ, 佐野仁

川崎市におけるライトトラップ捕集蚊の変遷

佐藤英毅

衛生局 環境衛生課 生活環境課

各保健所 公衆衛生課 生活環境課

誌 上 発 表

毛糸中の金属調査

山田高志, 竹沢英二, 鈴木明子, 原田忠彦

市民局消費生活課 野口三順, 檜山義夫

業 績 発 表

界面活性剤の溶血性について

加佐見洋子, 小林勇, 倉塚太刀夫, 飯塚郁夫

(第24回神奈川県公衆衛生学会 53.1 1.1 7 横浜市)

試験研究機関での使用する洗剤の検討

飯塚郁夫, 小林勇, 加佐見洋子, 倉塚太刀夫

(第24回神奈川県公衆衛生学会 53.1 1.1 7 横浜市)

合成洗剤がコレラ菌に及ぼす影響

小林勇, 飯塚郁夫, 加佐見洋子, 倉塚太刀夫, 中村武雄

(第24回神奈川県公衆衛生学会 53.1 1.1 7 横浜市)

(第37回日本公衆衛生学会 53.1 0.2 0 東京)

第25回 神奈川県公衆衛生学会

昭和54年11月20日

神奈川県保健教育センター

妊婦におけるHB抗原抗体保有状況

飯塚郁夫, 加佐見洋子, 飯塚太刀夫, 小林勇

川崎市における蚊成虫の季節的消長(1974~1978)

佐藤英毅

川崎市内における河川水の病原菌の検出状況

黒岩潔, 大久保吉雄, 小川正之, 岡田京子, 山下雅嗣, 中村武雄

第38回 日本公衆衛生学会

昭和54年10月17日~19日

新 潟 県

川崎市内における河川水の病原菌汚染に関する研究 II 病原菌の検出状況について

大久保吉雄, 岡田京子, 小川正之, 中村武雄

川崎市内における百日咳調査

岡田京子, 小川正之, 大久保吉雄, 中村武雄

酵素洗剤についての検討 ……… 蛋白質分解効果について

小林勇, 加佐見洋子, 倉塚太刀夫, 飯塚郁夫

川崎市におけるHBs抗原抗体およびHBc抗体の検出率について

飯塚郁夫, 加佐見洋子, 倉塚太刀夫, 小林勇

川崎港内底質中のB(a)P分析および総有機物質の検討

吉川サナエ, 森田昌敏(国立公害研究所)

第27回 日本ウイルス学会総会

昭和54年10月30日

東京 国立教育会館

Vero細胞を用いての高力価感染性水痘ウイルス液作製の検討

斉藤充司, 牧野慧, 松本稔

第28回 日本感染症学会東日本地方会

昭和54年11月2日

東京 日本青年館

麻疹に関する疫学調査

大場初義, 斉藤充司, 春山長治, 中村武雄

第7回 神奈川県感染症研究会

昭和55年2月16日

神奈川県立県政総合センター

Vero細胞におけるcell-free 水痘ウイルスの作製

斉藤充司, 春山長治, 大場初義, 中村武雄

論文

1978年1月から3月にかけて川崎市に流行したA型インフルエンザのウイルス学的, 血清疫学的
考察

春山長治, 斉藤充司, 大場初義, 中村武雄, 薩田清明

感染症学雑誌 53, 258-267: 1979

第3回 合成洗剤研究会

昭和54年 7 月 29 日

新 潟 市

1. 合成洗剤による細菌酵素活性阻害について

小林勇，加佐見洋子，倉塚太刀夫，飯塚郁夫

2. 合成洗剤に関する研究成果報告書（科学技術庁）の問題点－「一日最大安全量」

小林勇

3. 「酵素入り合成洗剤」についての検討

小林勇，飯塚郁夫，加佐見洋子，倉塚太刀夫

4. 電気洗濯機の効果に関する検討

小林勇，倉塚太刀夫，飯塚郁夫，加佐見洋子

4. 職 員 名 簿

(昭和55年4月1日現在)

衛生研究所長 技術吏員 長 田 信
事務長 事務吏員 市 川 堯 春
事務室

主任 事務吏員 金 子 文 雄
事務吏員 高 杉 悦 子
事務吏員 吉 田 健 児
事務吏員 池 田 健 児
技能吏員 古 手 進
業務吏員 森 田 晴 子
業務員 村 松 翠

微生物課長 技術吏員 中 村 武 雄
細菌検査係

係長 技術吏員 大久保 吉 雄
技術吏員 大 畠 武 夫
技術吏員 岡 田 京 子
技術吏員 小 川 正 之
技術吏員 山 下 雅 嗣
技術吏員 黒 岩 潔

臨床検査係

係長 技術吏員 小 林 勇
技術吏員 倉 塚 太刀夫
技術吏員 加佐見 洋 子
技術吏員 飯 塚 郁 夫

ウイルス検査係

係長 技術吏員 斉 藤 充 司
技術吏員 春 山 長 治
技術吏員 佐 藤 英 毅
技術吏員 大 場 初 義

理化学課長 技術吏員 頭 本 藤 雄
食品検査係

係長 技術吏員 小 野 勝 美
技術吏員 森 悦 男
技術吏員 小 川 時 彦
技術吏員 山 本 順 昭
技術吏員 田 中 幸 生

水質検査係

係長 技術吏員 佐 野 仁
技術吏員 湯 川 茂 夫
技術吏員 吉 川 サナエ
技術吏員 石 塚 美恵子
技術吏員 入 口 政 信

環境検査係

係長 技術吏員 原 田 忠 彦
技術吏員 鈴 木 明 子
技術吏員 竹 沢 英 二
技術吏員 山 田 高 志

5. 人 事 記 録

年 月 日	職 名	氏 名	異 動 事 項
55. 2. 1	事務吏員	佐々木 晴 美	田島保健所へ転出
2. 1	〃	高 杉 悦 子	井田病院から転入

発行年月日 昭和56年2月28日

発行所 川崎市衛生研究所

所在地 川崎市川崎区大島5-13-10

電話 044(244)4985